

やまたらけ

YAMADARAKE

OCTOBER

No. 67

2014

南アルプス前衛の山々 晩秋のトレイルをゆく

登山や山歩きが中高年や若い女性達の間でブームになる中、山の頂を目指す「ピークハント」型の登山から、山頂を目指す事を目的とせず、山や里を、ときには何日もかけて巡りながら歩く「ロングトレイル」が注目されている。アメリカのアパラチアン・トレイル、ニュージーランドのミルフォード・トラック等、海外ではかねてから「ロングトレイル」の文化が根付いているが、日本でも近年、長野と新潟の県境を歩く「信越トレイル」、八ヶ岳の山麓を一周する「八ヶ岳スーパートレイル」など、全国各地でロングトレイルが誕生している。これは、山へ登る達成感だけでなく、訪れた地の自然や歴史、文化などを感じたい、学びたいというニーズが高まってきたことの証だろう。

翻ってロングトレイルは、地元にとっては観光や地域活性化の有効な手段と考えられ、我が南アルプスエリアでも地域活性化やエリア内自治体との連携促進の手段として、整備計画が持ち上がった。その名も「南アルプスフロントトレイル」。南アルプス市から早川町を経て南部町に至るまでの、南アルプス前衛の山々を結んだ全長およそ70kmのロングトレイルである。今回はその第一期整備区間として、来春の仮オープンに向けて現在整備が進行中の池の茶屋峠から十谷峠間のルートの魅力を紹介する。(鞍打大輔)

トレイル」の全貌

南アルプスフロントトレイルは、

南アルプス市、富士川町、身延町、南
部町、そして早川町が連携して推進
している事業だ。南アルプス市の夜
叉神峠から、櫛形山、富士見山、七面

山、十枚山などを経て、南部町の貫ヶ岳までのおよそ70kmを尾根伝いに歩

くロングトレイルである。歴史的特色を持つ峠道が各所にあり、信仰の

山、住民生活と密着した山など、エリ
アごとに様々な特徴がある。また、東

に富士山、西には白根三山をはじめ
南アルプス南嶺の山々を眺めながら

歩くことができる。平成23年度に構
想が持ち上がり、何度も現地踏査な

どを通して検討を進める中で、ようやく本年度、第一期整備区間の整備

が始まった。この区間は、来シーズン中のオープンを目指している。また、全線は、今後3年程度かけて開通を目指す予定である。

勇壮な南アルプスを
眺めながらトレイルに入る

池の茶屋ゝ大峠ゝ足馴峠

第一期整備区間の北端は、早川町

奈良田と富士川町平林を結ぶ丸山林

道を上りきったところにある池の茶

屋峠だ。周囲を見渡すと、カラマツや

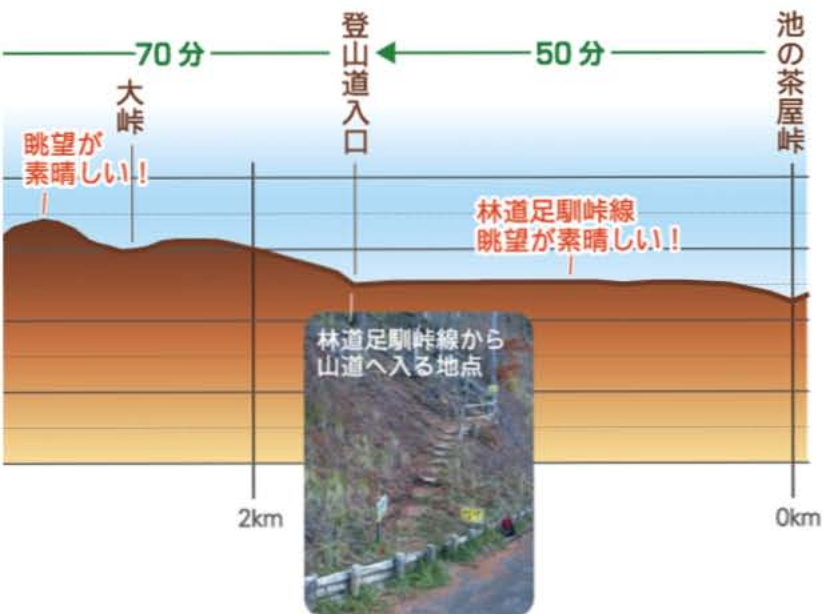
ダケカンバ、オオイタヤメイゲツ等

の木々の中に池を見つけた。峠の名

の通り、かつてここには茶屋があつ



大峠付近。源氏山へ向かう道との分岐点。左に見える、お椀を伏せた様な形をした山が源氏山。





林道足馴峠線からの眺め。左が赤石岳、右が悪沢岳。

たという。またここは、昭和20年頃まで、早川町奈良田の人々と、旧増穂町（現富士川町）の人々が荷替（にがい）をした場所としても知られている。増穂からは商店が雇った強力（ごうりき）が米、麦、塩などを上げ、奈良田の人々が運んだ下駄、曲物などと交換したそうだ。

前置きが長くなったが、池のほとりから丸山林道を奈良田方面へ5分ほど歩くと、林道足馴線の分岐に出る。ここからしばらく林道沿いを歩くことになるが、木々に覆われていない林道からは、雪をかぶり真っ白な赤石岳、荒川三山の悪沢岳（東岳）など赤石山脈の山々が、白根三山南嶺の尾根の向こうに見える。

足馴峠は、旧鰍沢町（現富士川町）の小室と、早川町の下湯島、西山温泉を結ぶ「湯島道」の道中にある峠だ。早川沿いにトロッコ軌道などが整備される以前、西山温泉に訪れる湯治

南アルプス登山史の 黎明期に思いを馳せながら 足馴峠〜岡松山〜倉尾山

50分ほど歩くと登山道の入口に出る。カラマツやダケカンバの間をしばらく行くと、大峠へとたどり着く。峠を吹き抜ける風が気持ちいい。峠には源氏山方面への道標が立っている。源氏山は山梨百名山にも選ばれている山で、甲斐源氏の祖先・源義光が砦を築いたという言い伝えが山名の由来と言われている。

しかし、我々は源氏山へは向かわず、南の尾根に取りつく。尾根を登りきった辺りは、間伐がされていて眺望が利く。東の源氏山に目をやると、その向こうに雄大な富士の姿が現れはっと息を飲む。朝日に輝く源氏山越しの富士山も、なかなかの眺めだ。ここからはちょっと急な坂を下る。下りるとそこは足馴峠だ。

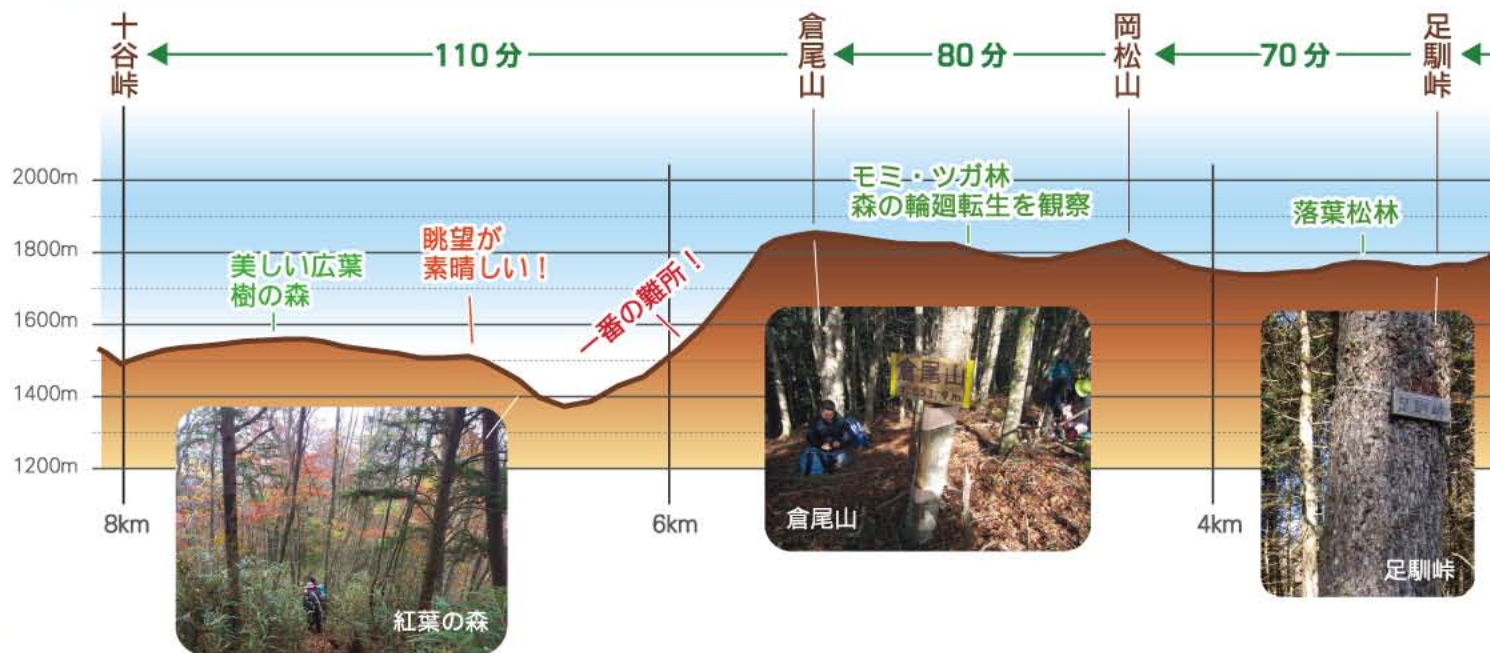
コラム① ユネスコエコパークに登録された南アルプス

今年6月、早川町を含む南アルプス地域が「ユネスコエコパーク」に登録されました。自然と人間社会の共生を目的として、地域の生態系や生物多様性を保全し、自然に学ぶと共に、文化的にも経済・社会的にも持続可能な発展を目指す取り組みで、世界で117か国621地域、日本では7地域が登録されています（2014年6月現在）。

エコパーク内は、自然環境を守る「核心地域」、人々が暮らし、持続可能な地域社会の発展を目指す「移行地域」、核心地域と移行地域の間にあり、環境教育や観光などに活用できる「緩衝地域」の3つのエリアに分類されています。このトレイルも、自然の利活用という意味で、エコパークと連動した取り組みと言えるでしょう。ちなみに早川町内では、間ノ岳、農鳥岳、策ヶ岳周辺が核心地域になっています。



大峠を過ぎた辺りから見る源氏山と富士山。





倉尾山の急斜面を下り、再び昇り出した地点からの眺め。
左の白い山が塩見岳。



ミズナラの太木



ブナ(右)やミズナラ(左)の太木があちこちにあり、手つかずの森であることが伺える。



倉尾山を過ぎると、標高が一気に下がり、紅葉がまだ残っていた。



倒れた木の上に新たな芽が出る倒木更新。森の輪廻転生。

客が通った道で、明治時代に書かれた『甲斐の落葉』(山中共古著)によると、湯治客を背負う強力もいて、背負子に五升樽をくくり付け、その上に布団をかぶせ客を座らせたという。

また湯治客だけでなく、南アルプス登山の黎明期には、日本山岳会の初代会長、小島烏水をはじめ、山へ向かう多くの登山家がこの峠道を通ったという。風景画家の山下藤次郎は著書『白峰の麓』(明治42年)にて、峠を越え南アルプスが見えたときの感動を「顔を出している雪の峰、白峰！白峰！」と綴っている。ちなみに、足馴峠という名前は、大正11年7月に南アルプス登山でこの地を訪れた浅香宮嶋彦王に命名されている。

南アルプス登山を支えた歴史ある峠道を横切って、トレイルは南へ続く。ここからしばらくは、カラマツ林の中を歩く。新緑、紅葉の時期はとも美しいはずだ。カラマツ林が終わると、視界が開け白根三山とその南嶺が見えるポイントにたどり着く。そこからは、ブナやミズナラ、モミヤコメツガを中心とした自然林へと入っていく。

標高1821mの岡松山を過ぎる

と、モミヤコメツガが主体の林へと移り変わっていく。倒れた木の上にと落ちた種が発芽する倒木更新が、あちらこちらで見られ、森林が生まれ変わりゆく姿を見ることができた。

足下にはヤマイワカガミがところどころに群生しており、春には可憐な花を見ることができそう。

足馴峠から2時間半ほどで、標高1854mの倉尾山に到着した。

難所を過ぎると

落葉樹の美しい森が広がる

倉尾山〜十谷峠

倉尾山から南下すると、すぐに急傾斜の下り坂に入る。この区間一番の難所だ。尾根から外れルートがやや不鮮明だが、ロープが張っており、それを伝えれば迷う事はない。下る途中、巨大な岩があちらこちらにあり迫力がある。

急傾斜が一段落すると、今度は背丈ほどもある笹だ。しかし、ここもルート上は笹が刈られていて、その間を歩けば問題はない。途中、ミズナラやブナの大木が何本もあり、思わず見上げてしまう。

コラム② 南アルプス登山を支えた早川の民

明治時代、小島烏水ら、著名な登山家が南アルプスの山々を次々と登頂していった背景には、早川の民のサポートがあった。登山家たちが残した紀行文には、大村晃平、中村宗義といった名前が随所に出てくる。彼らは早川町湯島に住んでいた猟師たちで、普段から山に入り精通していたため案内人として雇われた。西山村誌によれば、大正12年には西山登山案内組合（組合長・中村宗義／組合員30名）が設立され、地元の猟師たちが南アルプス全山の案内に従事したとされている。

今年度、トレイルの整備と並行して、「南アルプスガイドクラブ」が立ち上がった。早川からも7名がメンバーとなっている。かつての案内人の精神を引き継ぎ、登山客の安全な山歩きをサポートしながら、南アルプスの山や里の自然、歴史、文化を感じてもらおうべく、技術と知識の向上に日々研鑽を積んでいる。

しばらく行くと、カラマツ林の中に広く平らな場所があり、ここで一休み。カラマツの間からは富士山が見える。さらに進むと、植林のために木が伐採され、草原になっている場所に出る。ここからは北西方面が完全に見渡せ、白根三山とその南嶺の山々とともに、美しく色づく手前の山ひだが一望できる。

十谷峠手前は、ブナやミズナラに加え、朴の木やカエデの類が増え、大木が多く、下草はそれほど生えていない。歩き易く気持ちのよい空間。落ち葉の上をザクザクと歩く感覚がたまらない。カエデは、オオイタヤメイゲツ、ハウチワカエデ、イタヤカエデ、コミネカエデ、ウリハダカエデなど種類も非常に多い。紅葉が美しいのはもちろんだが、いろいろな種類のカエデを探しながら歩くのも楽しいはずだ。

広葉樹の林を抜けると、峠が見えてきた。ここが今日のゴール、第一期整備区間の南端・十谷峠だ。この峠は、早川町茂倉の人々が、旧鰍沢町十谷や、さらに鰍沢の町へ生活物資や正月支度の物資等を買に出かける際に通った場所。十谷で買ったお酒を道中飲んで、茂倉にたどり着く頃には半分になっていたなんてこともあったとか。峠を越えた安堵感から、きつとここでも飲んだのだろう。我々も峠に腰を下ろし、無事歩き通した安堵感に浸りながら、酒ならぬ水をゴクゴクとのどに流し込んだ。

今回紹介するルートは、ここまで。

トレイルを歩いた気分になりましたでしょうか。また、このトレイルを実際に歩きたくなりましたでしょうか。トレイルの魅力は、山歩きとともに、その地域の自然や歴史、文化を学ぶこと。みなさんも、美しい自然や眺望を楽しみながら、山の記憶、里の記憶を探しにトレイルに出かけてみてはいかがでしょうか。

早川旬の直送便

<http://shop.joryuken.net/>

上記ウェブサイトでは、他の商品も販売しております。会員割引も適用できますので、ぜひご利用下さい。

1 雨畑紅茶 Ya!Tea

この紅茶は、早川町の雨畑地区で生産加工されたものです。農薬を使わずに、有機肥料で育てた雨畑茶を紅茶とすべく、構想から2年半を掛け商品化されました。香りや甘味が高く、紅茶特有の渋味やえぐ味が少ない、安心して何杯でも飲める紅茶です。雨畑の新しい香りを、是非、お楽しみ下さい。



内容／1缶に茶葉70g
(35g×2袋入り)
価格／一般1,350円+送料
会員1,215円+送料
発送／注文順に発送
締切／売切れ次第終了

【お知らせ】6月より、早川旬の直送便（本紙上及び、インターネット上の直送便サイトでの物産販売）は、早川町黒桂（つづら）の「たつみや（代表：池田良）」が実施いたします。今後、商品の発送元、代金の入金先、サイト上の注文先が、たつみやに順次切り変わりますので、ご了承下さい。なお、本紙上で紹介した物産に関する電話、FAX、メールでのご注文先は、引き続き下記事務局となります。

2 根芋の詰合せ

島根芋（とうねいも）は、大島集落の特産品です。その昔「唐の芋」と呼ばれた里芋の一種で、粘りが強く、京野菜の海老芋に匹敵する味です。無農薬で大事に育てられた島根芋の煮物は絶品です。

芋茎は、年間で700袋売れる人気商品。干瓢のように巻き寿司の芯に使ったり、刻んで混ぜご飯の具として入れたり、煮物や「ほうとう」の具としても使われています。

内容／親芋 約1kg
小芋 約1kg
芋茎 1袋
価格／一般1,850円+送料
会員1,665円+送料
発送／10月20日（月）から
締切／11月10日（月）まで



▶左上から時計回りに島根芋と芋茎の煮物、芋茎を甘辛く煮で芯にした巻き寿司、芋茎の甘酢煮。

会員価格は、早川サポーターズクラブ、及び日本上流文化圏研究所の会員に適用されます！

【ご注文・お問い合わせ先】 NPO法人 日本上流文化圏研究所（早川サポーターズクラブ事務局、やまだらけ編集部）

TEL. 0556-45-2160 (9:00～17:30) FAX. 0556-45-2268 E-mail shop@joryuken.net

注文者氏名、住所、電話番号、お送り先氏名、住所、電話番号、商品名、数量をご連絡下さい。ファックス、メールの場合、折り返しご連絡いたします。3日が経過しても連絡がない場合は、お手数ですが電話でお問合せください。支払いは、商品と一緒に請求書をお送りしますので、指定の金融機関へお振込みください。

送料の目安：普通便（ゆうパック）607円～、冷蔵便（ゆうパックチルド）887円～、冷凍便（ヤマト運輸クール）972円～で、東北、近畿、中国、四国、北海道、九州、沖縄は+300円～600円程度追加料金が発生します。また、大きさや量によっても追加料金が発生する場合がございますのでご了承下さい。正確な送料は、注文後、こちらからお知らせします。

10/26・27 南アルプス広河原ハイキングツアー



南アルプスが国立公園に指定されて、今年で50年。ユネスコエコパークにも登録された南アルプスの豊かな自然を、ガイドと一緒に散策しましょう。

今回訪れるのは南アルプス登山の玄関口・広河原。この場所には5～6人がかりでやっと抱きかかえられるほどの太さがある「カツラの太木」の森が広がり、その周囲には渓谷を覆いつくすほどのスケールの大きな紅葉の森が広がっています。そんな日常ではなかなか出逢えない自然の中に身を置いてみませんか？

一年でもこの時期だけのとっておきの南アルプスの魅力を、ガイドと一緒に楽しみましょう。

日程／10月25日(土)～26日(日)
対象／中学生以上(中学生は保護者同伴)
参加費／大人15,000円(1泊3食・温泉付)

※参加費には宿泊代、プログラム費、食費(3食)、障害保険料、入湯税が含まれます。

定員／15名 ※10月22日(水)までに要申込
(定員になり次第締切)



イベント詳細はこちら <http://www.hayakawa-eco.com/>

南アルプス野鳥公園

11/22・23 秋のファミリーキャンプ



畑で秋の実りを収穫してアウトドアクッキングに挑戦してみませんか？

ダッチオーブンを使っての野外料理や、小麦粉を練ってつくる山梨の郷土料理・ほうとうを作ります。クッキングは薪や炭を使い、たき火を囲んで夕食を楽しみます。2日間、クッキングを楽しむいしん坊キャンプです。

日程／11月22日(土)～23日(日)

対象／5歳以上(5歳未満のお子様もお気軽にお問合せください。)

参加費／大人9,000円(1泊3食・温泉付)

子ども7,000円(1泊3食・温泉付)

※3名様から1名追加ごとに1,000

円引き。参加費には宿泊代、プログラム費、食費(3食)、障害保険料、入湯税が含まれます。

定員／親子7組 ※11月17日(月)までに要申込



宿泊場所は「光源の里温泉・ヘルシー美里」です。JR身延線「下部温泉駅」または高速バス「飯富停留所」からの送迎をご希望の方は事前にご相談ください。早川サポーターズクラブ会員は、いずれも1割引にてご参加いただけます！

申し込み/問い合わせ先 南アルプス生態邑「野鳥公園」または「ヘルシー美里」

【野鳥公園】TEL/FAX: 0556-48-2288 E-mail: yacho@hayakawa-eco.com

【ヘルシー美里】TEL: 0556-48-2621 FAX: 0556-48-2622 E-mail: info@hayakawa-eco.com

はやかわ創造空間 COCOROTO

11/1-24 今福一仁 写真展『はじめて出会ったオーロラ』～アラスカ・フェアバンク滞在記～



山梨県在住の写真家、今福一仁さんがアラスカで撮影した、オーロラの写真展を開催致します。

会期／11月1日(土)～11月24日(月)
10:00～17:00

※月曜、火曜休館(祝日は開館。
翌日が代休)、入場無料

問い合わせ先「はやかわ創造空間COCOROTO」

住所：山梨県南巨摩郡早川町保 1525 電話：0556-45-2770

E-Mail: cocoroto.cs@gmail.com ブログ <http://cocoroto.cocolog-nifty.com/blog/>

“はるかオーロラをもとめて”

2013年2月、オーロラをもとめて内陸地フェアバンクスの街に降り立ちました。夜間の気温はおよそ-25℃。極寒の地に5日間滞在し、念願のオーロラにめぐりあう事ができました。夜間に舞う神秘的の光をご覧ください。

今福一仁(いまふく かずひと)

1976年、山梨県生まれ。大阪芸術大学芸術学部写真学科卒業。

11/9 秋の早川を満喫
「はやかわ紅葉とそば祭り」今年も開催！

町内の名物そばが大集合するそば祭り。赤や黄に染まった美しい山々と美味しいおそばを愉しみに、秋の早川にお出掛け下さい。

11月9日(日) 10:00～14:00 於：ヘルシー美里グラウンド
サポーターズクラブ会員は、石臼碾きコーヒー1杯サービス！

早川町が
生き残る道は
自然を守ることにある

西山温泉 元湯 蓬萊館

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町湯島 73
TEL: 0556-48-2211(代)/FAX: 0556-48-2366

奈良田温泉
七不思議の湯
白根館

日本秘湯を守る会々員
日本源泉地帯を守る会々員

〒409-2701 山梨県南巨摩郡早川町奈良田 344
TEL: 0556-48-2711 FAX: 0556-48-2770
www.nukuyu.com/shiranekan/

西山温泉 慶雲館

全館源泉掛け流しの宿

〒409-2702 山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL: 0556-48-2111 FAX: 0556-48-2611 <http://www.kefunkan.co.jp>

早川町 望月石材店
☎0556-45-2601

身延町 飯富展示場
☎0556-42-4440

十谷上湯温泉
源氏の湯

日本秘湯を守る会々員 www.nukuyu.com/genji-yu/

〒400-0606 山梨県南巨摩郡富士川町十谷 4249
電話: 0556-27-0224
ファクシミリ: 0556-27-0227

新築、改築、マイホームの事なら何でもおまかせ

日本建築のプロフェッショナル
望月工務店

〒409-2713 山梨県南巨摩郡早川町保 1792
TEL: 0556-45-3016 FAX: 0556-45-2661(工場)

10/2-31

赤沢宿・清水屋にて 松原秀伸水彩画展

赤沢集落内の休憩所・宿の駅清水屋では、2階をギャラリーとして活用しています。今回は、水彩画展を行います。多数の美術館などに作品を収蔵している松原秀伸さんが、赤沢宿内の風景を描いた作品を展示。優しい水彩で描かれた赤沢のまちなみから、実物とまた違った趣きを見つけれられるかもしれません。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい！

会期／10月2日(木)～10月31日(金)9:00～16:00

※水曜定休、入場無料



◀美しい清水屋
の内部(二階)

問い合わせ先「赤沢宿・宿の駅清水屋」
住所：山梨県南巨摩郡早川町赤沢 193
電話：0556-45-3232



11/10

日本一人口が少ない町の日本一元気な小学校 早川北小学校「わらべどんぐり祭り」に 参加しませんか？

早川北小学校の一代イベント、「わらべどんぐり祭り」。午前中は早川町の言い伝えを再現した民話劇や、音楽発表。午後は一輪車の発表や、保護者・地域の方々・来賓みんなで参加するアットホームな運動会など内容は盛り沢山！



当日は、早川町へ移住を検討している方向けにセミナーも行います！早川町への移住に興味のある方、学校の様子を見てみたいという方はぜひお越し下さい！

日時／10月18日(土)9:00～

※セミナーは11:15から。内容は校内見学、早川町での生活の説明、移住体験談など

参加費／無料(お昼ご飯にはみんなでついたお餅をご用意します！)



▲セミナーの様子

問い合わせ先「早川町立早川北小学校」
住所：山梨県南巨摩郡早川町大原野 163
電話：0556-20-5531
E-mail: Ecole-32@hayakawa-kitasho.ed.jp

豪華賞品？が当たる やまだらけクイズ！45

問：今号の特集で紹介したトレイルは、何という名前でしょう。

答：1, 南アルプスパノラマトレイル
2, 南アルプスマウントトレイル
3, 南アルプスフロントトレイル

正解者の中から抽選で2名様に、バードコールをプレゼントいたします！平成26年11月15日締切(消印有効)です。

※専用はがきをお持ちでない方は、官製はがきに回答とお名前、ご住所、電話番号をご記入の上、お送り下さい！

前回のクイズの正解は、3の「山の名前」でした。抽選の結果、石田美和さん(東松山市)が当選しました！おめでとうございます！

憧れの「慶雲館」に、特別価格で 贅沢なひとときを過ごそう！ 慶雲館の冬のスペシャルプラン！

「世界最古の温泉宿」としてギネスブックに認定され、日本屈指の名旅館として知られる慶雲館より、この時期限定のスペシャルプランをご案内します！

12月25日 女性限定！ 「クリスマス特別レディースプラン」

今年のクリスマス、あなたはどうお過ごしのお予定ですか？12月25日、女性の方だけにお届けする特別プランをご用意致しました。日々頑張っている自分へのご褒美に、女友達と温泉三昧の贅沢を満喫。慶雲館が思い出に残る聖夜を演出します。

※12月25日は女性のお客様限定で【館内女性貸切】になります。

通常25,000円のところ→18,000円

12月～2月限定企画 「冬期スペシャル宿泊プラン」

※12月31日～1月4日は除く

通常21,600円のところ→16,000円

さらに、1ドリンクサービス。8名以上でお申し込みの場合はカラオケ付き！

※どちらのプランも、一泊2食、サービス料、税込み(別途、入湯税150円が必要となります)



予約／お問い合わせ先「西山温泉・慶雲館(担当:伏見)」
住所：山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL: 0556-48-2111(代) FAX: 0556-48-2611



浜田屋商店
電話 0556-48-2311

早川町で感動体験を・・・
南アルプス生態邑
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園

ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S・T・E・P
tel.055-280-3350



〒400-0422 山梨県南アルプス市荻沢 1356-1

防災用品

非常用アルファ米・保存水・発電機
簡易トイレ・防災用毛布・テント等

オフィス事務機(有)

〒409-3244
山梨県西八代郡市川三郷町岩間 2077
TEL.0556-32-1003 FAX.0556-32-1004

雲峰七面山の登山口であなただけの旅を支える

株式会社 俵屋観光
バス ジャンボタクシー

有限会社 俵屋旅館
宿泊 宴会 法事などに

〒409-2732
山梨県南巨摩郡早川町高住 621
電話 0556-45-2500

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を旨とします。

早川砂利協同組合

理事長 井上聡一郎
山梨県南巨摩郡早川町小橋 26
電話 0556-45-2450

はやかわ
おもいで
アルバム

-2-

山が舞台の仕事風景

索道用ワイヤーの運搬 (昭和30年頃)

早川入りに住む人々は、狩猟をしたり、山で焼畑をしたり、山林の手入れをしたりと日常的に山に入った。また鉱山や電源開発、林業などの仕事に就き、現金収入を得るために入ることもあった。

写真は昭和30年頃、林業で木材を搬出するための索道(山から山に荷物を運ぶロープウェイ

イに使うワイヤーを運んでいく様子。ワイヤーは全長1km程と長く、20〜25人が数珠つなぎになって運んだ。ワイヤーを積み40kg近くある「背負子」を杖で支え、休憩しているところだ。茂倉や新倉の人々は夜明け前に出発し、伝付峠を越えて静岡県の

大井川流域にある二軒小屋や樫島を目指した。ワイヤーがよい



所蔵:阿部那加子

れ、横歩きで峠越えることもあったという。そこに一週間程滞在し、方々の作業場へ荷を運んだ。男性は別の仕事に就いていたので、このような仕事は主に女性の日雇い仕事だった。峠道には、発電所などの通勤の、食料を運ぶ人夫、登山者などたくさんの方の往来があった。運ばれたワイヤーは、静岡側から南アルプスの標高2000mの尾根を越え西山温泉の辺りを結んだ。当時、木材の搬出方法が、川を流す「川狩り」から索道に変わったため、大量のワイヤーが山の上に運ばれた。西山温泉に下るされた木材は、トロッコで富士川まで運ばれた。

読者の声

- どのカフェもすごく素敵で、今度、ぜひ家族で出かけてみたいと思いました。景色もきれいだし、とてもいやさそうですね。(甲斐市Tさん)
- 5つのカフェがみんな個性的なのが良いです。(中略)カフェに寄って、一日町を巡るようになればなお良いでしょう。(八千代市Tさん)
- 編集部:季節のメニューがあるカフェもあります。紅葉を眺めながらカフェ巡り、最高だと思います!
- やる気応援事業助成団体の記事で、サポーターズクラブの会費が事業に役立っていることを知り、嬉しくなりました。(中略)がんばっていただきたいです。(八王子市Nさん)
- 編集部:やる気応援事業は、サポーターズクラブのみなさんの会費に支えられています。これまでに、30以上の取り組みをサポートさせてもらっている

地域発展のお手伝い! 地域の暮らしを守る!

早邦建設株式会社

小幡山工事

【本社】〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2288
【生コンクリートプラント】TEL.0556-45-2700
http://www.soho3000.com/

んですよ〜。その辺りも、今後しっかり発信させて頂きます!

- 8月15日、ヴィラ雨畑に一泊して花火を見に来ました。(中略)なかなか立派な花火があがり、最後をナイアガラで締めるところなど、にくい演出だなと感じています。(杉並区Mさん)

編集部:雨畑湖上祭ほど贅沢な花火大会はないですね。迫力満天の花火大会です。ちなみに、編集部は毎年会場で、出店の手伝いをしています!

- エコパーク登録おめでとうございます。ユネスコに関係する者として、また長年に渡り町の振興策に日夜努力されている関係者を知る者として、心から敬意と祝意を申し上げます。(蓮田市Tさん)

編集部:ありがとうございます! ここまで来たのもすごいことですが、でもここからの取り組みがもっと大事ですね。応援宜しくお願いいたします!

水と人びとの暮らし
水と環境問題
水をめぐる争い
水と人びとの健康
水問題にたちむかう

世界と日本の水問題 橋本淳司/著

【セット定価】本体12,500円+税 【各巻定価】本体2,500円+税
【体裁】A4変型判/各巻48ページ/フルカラー/美観ケース入り(セットの場合)
【ISBN】978-4-580-58367-3

文研出版 TEL 03-3814-5187 / FAX 03-3814-2157

NEXT やまだらけ

68号特集(12月上旬お届け)

「縄文の味・栃餅づくりの技術」

縄文時代から食べられてきた栃の実。アクを抜いたり、食べられるようにするには手間ひまがかかるが、米の採れない山間地では貴重な食料源として、お粥や餅などにして食べ継がれて来た。

町内にも、今なお栃餅を作り続ける人がいる。栃餅づくり名人から、栃餅作りの技術を教わるとともに、栃餅への思いを聞き取り紹介する。

山梨県

子育て 応援します

やまなし子育て応援カード協賛店

月禾堂 TEL(0556)22-0445

ぶんぐの森へようこそ

私自身も、このロングトレイルの整備に関わっているのですが、最近、地図を見ながら、ここを歩いたら楽しそう、ここここをつなげたら面白そうと、妄想を膨らませるのが楽しくて仕方ありません。かつての案内人のように、早川の山々を、尾根や峠道を、集落と集落を結ぶ古道を、縦横無尽に歩けるようになりたいと思う今日この頃です。(鞍打大輔)

山を覗けば宝の山
【やまだらけ】

発行元/フィールドミュージアム運営委員会
NPO法人日本上流文化圏研究所内
住所/山梨県南巨摩郡早川町葉袋430 〒409-2727
電話/0556-45-2160 ファクシミリ/0556-45-2268